DRIFTING FURTHER APART

出生率低下の要因にも
SNSが生む「エコーチェンバー」若年層で進む男女間の分断

女性はよりリベラルに、男性はより保守的に——男女間の政治・思想的な乖離（かいり）が世界中で深まりつつある。この現象を「ジェンダーの大分断」と呼ぶ英国の社会科学者アリス・エバンズ氏は、スマホなどによるコンテンツ消費のパーソナライゼーション（個人最適化）の拡大が、いわゆる「エコーチェンバー現象」を生み出し、男女間の対話や共感の機会を奪い、分断を深刻化させているのみならず、世界的な少子化の一因ともなっていると指摘。単なる政治的対立にとどまらない、社会の根幹を揺るがす「分断のメカニズム」を浮き彫りにする。

番組ホスト

ファリード・ザカリア

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル『フォーリン・アフェアーズ』編集長、ニュース週刊誌『ニューズウィーク』の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。

ゲスト

アリス・エバンズ

キングス・カレッジ・ロンドンで開発社会科学の上級講師を務める社会学者。社会規範とその変化の理由、世界におけるジェンダー平等に向けた進歩の歴史や、なぜそれが地域によって異なってきたかなどを扱う研究プロジェクト「The Great Gender Divergence（ジェンダーの大分断）」を手掛け、同名の書籍がプリンストン大学出版局から刊行予定。

Listening Quiz

60 社会的結びつきの顕著な希薄化

Fareed Zakaria Studies show that young women have become more and more liberal while young men are turning increasingly to the right. We've also seen a constant decline in the number of people getting married or living together around the world in recent decades. So, why exactly are men and women becoming so disconnected?

Alice Evans is a senior lecturer in the social science of development at King's College London.

Alice, welcome. So, let's talk about why technology now is producing this gender divide. You write a lot about how technology like smartphones has, for the first time ever, really allowed people to completely personalize their content, what they take in from the world.

Alice Evans Absolutely, so we're no longer trapped in top-down homogenization, no longer forced to consume shows or...or share media or come to a common denominator. Instead, each person is free to pursue whatever their preferences are, so this enables ever-greater personalization.

Moreover, once we become immersed in these echo chambers of groupthink,* where everyone is preaching to the choir,* reaffirming that sense of righteous resistance, we're not necessarily aware of dissent or any kind of policing. And threats of ostracism come from within that ideological tribe. So that can lead to runaway polarization.

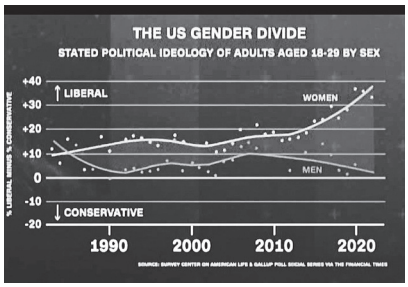
drift apart:
《タイトル》徐々に離れていく
disconnected:
分断された
senior lecturer:
（大学の）上級講師
divide:
分裂、分断
personalize:
～をパーソナライズする、個人向けに設定する
top-down:
トップダウン式の
homogenization:
均一化、均質化
common denominator:
（ある集団の）共通要素
pursue:
～を追い求める
preference:
好み、嗜好
become immersed in:
～にどっぷりつかる、入り込む
preach to the choir:
すでに同意している人を説得する
reaffirm:
～の正当性を再確認する
righteous:
正義の、高潔な
dissent:
意見の相違、反対意見
policing:
取り締まり、監視
ostracism:
追放、排斥
ideological:
イデオロギーに基づいた
tribe:
部族、仲間集団
runaway:
暴走した、手に負えない
polarization:
分極化、二極化

＊お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

ファリード・ザカリア　研究結果によると、若い女性がますますリベラルになる一方、若い男性は右傾化を強めているといいます。またこの数十年、世界中で結婚や同棲（どうせい）をする人の数が減り続けています。男女は一体どうしてこれほど分断されるようになったのでしょうか。

アリス・エバンズさんはキングス・カレッジ・ロンドンの開発社会科学の上級講師です。

アリス、ようこそ。なぜ、現代のテクノロジーは、こうした男女間の分断を生んでいるのでしょうか。あなたは、スマートフォンなどのテクノロジーによって、人々は自分の見るコンテンツ、世界から取り込む情報を、史上初めて完全にパーソナライズできるようになった、とよく書いておられますよね。



米国の若年層における政治思想のジェンダー間の違いを表したグラフ。1980年頃には男性の方がリベラル派の数で女性を上回っていたが、逆転。2010年代半ばから女性のリベラル化がかつてないほど進み、保守化する男性との思想的分断が深まっているのが見て取れる

アリス・エバンズ　その通りです。ですから、もはや私たちは、トップダウン式の均一化に縛られてはいませんし、仕方なく（放送局などが決める限られた）番組を視聴したり同じメディアを共有したりすることも、共通項を持つよう強いられることもありません。代わりに、一人一人が、その好みがどんなものであれ、自分の好みを追求でき、ますますパーソナライズできるようになりました。

さらに、同じ考えを持つ人だけが集まるこういった「エコーチェンバー」の中にいったんつかってしまうと――そこでは誰もが共通する意見を繰り返し、自分たちは正義の抵抗をしているのだと再確認し合っているわけですが――異なる意見があることや、（異議・反論などの）制御に、必ずしも気付けなくなります。そして、そのイデオロギーでまとまった集団の内部から、（異なった言動をしたりすると）排斥するぞという脅しが生まれます。そうした状態が分極化の暴走につながる可能性があるのです。

■ these echo chambers of groupthink
echo chamber（エコーチェンバー）とは、元は音響演出のための「反響室」のこと。これが比喩的に用いられ、閉鎖的な空間で自分と同じような意見や信念だけが反響・共鳴し、増幅されるような状況を指す。自分がフォローするユーザーの投稿だけが流れてくるSNSのタイムラインなどは、まさにその典型例。自分（たち）とは異なる意見、見聞きしたくない情報などはほとんど入ってこないため、自分（たち）の考えを相対化したり、批判的に捉えたりしにくくなる。groupthinkは文字通り「集団的思考」のことだが、「付和雷同」的で、それにより生み出される結果が「良くない、稚拙である」という含みがあることが多い。

■ everyone is preaching to the choir
preach to the choir［the converted］は定型句。「（すでにキリスト教徒である）聖歌隊［改宗者］にキリストの教えを説く」という意味で、「すでに納得している人たちに改めて教えを説く」、つまり「言う必要のないことを繰り返す」ということ。ここでは、SNS等において、内輪だけで自己肯定的な情報交換を繰り返している状態を揶揄（やゆ）して言っているのだろう。